【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成31年1月31日(2019.1.31)

【公開番号】特開2017-112543(P2017-112543A)
【公開日】平成29年6月22日(2017.6.22)
【年通号数】公開・登録公報2017-023
【出願番号】特願2015-246657(P2015-246657)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/91　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/91　N

【手続補正書】
【提出日】平成30年12月12日(2018.12.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１画像から代表色を決定し、前記代表色を用いて第２画像を生成する画像処理装置であって、
予め設定された複数の分類色について、各分類色が第１画像内で占める面積比率に応じた第１評価値を算出する第１算出手段と、
前記第１評価値が所定値以上である分類色との色相差に応じた係数を用いて前記第１評価値に重み付けを行って第２評価値を算出する第２算出手段と、
前記第２評価値に基づいて、前記複数の分類色のうちから代表色を決定する決定手段と、
前記代表色を用いて前記第２画像を生成する生成手段と、
を有することを特徴とする画像処理装置。
【請求項２】
前記第１算出手段は、前記各分類色が前記第１画像内で占める面積比率が大きくなるほど値が高くなる前記第１評価値を算出し、
前記決定手段は、前記複数の分類色のうち、値が最も高い前記第２評価値に応じた分類色を、代表色として決定することを特徴とする請求項１に記載の画像処理装置。
【請求項３】
前記決定手段は、前記各分類色のうち、有彩色に分類される分類色の、前記第１画像内における面積比率が所定面積比率以上である場合に、前記有彩色の各分類色のうちから、値が最も高い前記第２評価値に応じた分類色を、前記代表色として決定することを特徴とする請求項２に記載の画像処理装置。
【請求項４】
前記第１算出手段は、前記各分類色が前記第１画像内で占める面積比率が大きくなるほど値が高くなる前記第１評価値を算出し、
前記第２算出手段は、前記第１画像内で占める面積比率が所定比率以上となっている支配色の分類色との色相差が大きいほど重くなる第１係数により重み付けを行った後の第１評価値と、前記支配色の分類色が前記第１画像内で占める面積比率より小さい所定範囲内に入る面積比率の分類色に対して重くなる第２係数により重み付けを行った後の第１評価値とを、掛け合わせて前記第２評価値を算出し、

前記決定手段は、前記複数の分類色のうちから、値が最も高い前記第２評価値に応じた分類色を、前記代表色として決定することを特徴とする請求項１に記載の画像処理装置。
【請求項５】
前記第２算出手段は、前記支配色の分類色に対して、補色関係となる色相差を有する分類色に対して最大の重み付けを行うことを特徴とする請求項４に記載の画像処理装置。
【請求項６】
前記第２算出手段は、前記各分類色のうち、無彩色に分類される各分類色の第１画像内の面積比率が予め決めた面積比率以上である場合には、前記第１評価値に基づいて、前記無彩色に分類される分類色のうちから代表色を決定することを特徴とする請求項１乃至５の何れか１項に記載の画像処理装置。
【請求項７】
前記生成手段は、前記代表色が背景色となされた所定の画像を前記第１画像に合成して前記第２画像を生成することを特徴とする請求項１乃至６の何れか１項に記載の画像処理装置。
【請求項８】
前記生成手段は、前記所定の画像に記入される文字色を、前記背景色に対する補色の色とすることを特徴とする請求項７に記載の画像処理装置。
【請求項９】
前記生成手段は、前記第１画像に対して前記代表色に応じたフィルタ処理を行って前記第２画像を生成することを特徴とする請求項１に記載の画像処理装置。
【請求項１０】
複数の画像の中から、前記第１画像を選抜する選抜手段を更に有することを特徴とする請求項１乃至９の何れか１項に記載の画像処理装置。
【請求項１１】
第１画像から代表色を決定し、前記代表色を用いて第２画像を生成する画像処理方法であって、
第１算出手段が、予め設定された複数の分類色について、各分類色が第１画像内で占める面積比率に応じた第１評価値を算出するステップと、
第２算出手段が、前記第１評価値が所定値以上である分類色との色相差に応じた係数を用いて前記第１評価値に重み付けを行って第２評価値を算出するステップと、
決定手段が、前記第２評価値に基づいて、前記複数の分類色のうちから代表色を決定するステップと、
生成手段が、前記代表色を用いて前記第２画像を生成するステップと、
を含むことを特徴とする画像処理方法。
【請求項１２】
コンピュータを、請求項１乃至１０の何れか１項に記載の画像処理装置の各手段として機能させるためのプログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明は、第１画像から代表色を決定し、前記代表色を用いて第２画像を生成する画像処理装置であって、予め設定された複数の分類色について、各分類色が第１画像内で占める面積比率に応じた第１評価値を算出する第１算出手段と、前記第１評価値が所定値以上である分類色との色相差に応じた係数を用いて前記第１評価値に重み付けを行って第２評価値を算出する第２算出手段と、前記第２評価値に基づいて、前記複数の分類色のうちから代表色を決定する決定手段と、前記代表色を用いて前記第２画像を生成する生成手段と、を有することを特徴とする。